

京都の持続的発展と 住みやすいまちづくり

— 京都市財政と子育てをめぐる現状と課題 —

財政難？ インバウンドの経済的恩恵？ 異次元の少子化対策？

京都市では、現役世代の人口減少が加速しています。一方で、観光地は賑わい、中心市街地や南部では開発が進んでいます。しかしながら、賑わいや不動産需要などの経済的な恩恵が地域住民にもたらされているとはいえません。

そのような環境下でありながら、財政危機のなかで打ち出された子育て関連予算の削減は、財政状況が安定した現在においても継続されています。

本シンポジウムでは、京都の持続的な発展に向けて、何が求められているのかを、研究者の視点と、子育て現場の視点から分析し、その成果を広く社会に共有し、新たな保育、子育て支援策のあり方を考えます。

日時: 2025年1月19日(日) 14:00~16:30

会場: 京都アスニー 第8研修室 (京都市生涯学習総合センター)
京都市中京区丸太町通七本松西入る

京都アスニー
アクセスマップ



あいさつ 研究ユニット代表 岡田知弘 (京都橘大学経済学部教授)

第1部 研究者と現場からの報告

西井志織 (白い鳩保育園保育士)
小山大介 (京都橘大学経済学部准教授)
那須ダグバ潤子 (京都橘大学
看護学部准教授)

第2部 パネルディスカッション

池田さところ (たかつかさ保育園保護者、
市保連事務局長)
藤井豊 (弁護士)
西井志織
那須ダグバ潤子
コーディネーター 小山大介

無料 定員200名(申込順)

研究ユニットとは、京都橘大学の学部を横断した研究組織です。



お申込はこちら



主催 京都橘大学 京都の持続可能性研究ユニット

お問合せ  koyama-d@tachibana-u.ac.jp